



会からのお知らせ

○ 平成14年3月例会「第20回東村山雑学講座」のご案内

日時：3月9日（土） 15:00～16:45

場所：東村山市民センター別館、第4会議室

演題：『人生を10倍楽しくする方法』

講師：佐野 常夫氏 有限会社、エデイト代表取締役

リフレッシュ・スピーチ革命教室主幹

人生は本人の心の持ち方、人との接し方で幸福にも不幸にもなる、去年はニューヨーク、ワシントンの同時テロを始めとして、不景気によるリストラそして史上最悪の失業率等等暗いニュースの多い一年でした、このような時であるからこそ心の持ち方、生活態度を考え直すのは良薬であると思います、そこでその関係専門に講演を重ねてきた佐野常夫さんに今回の講座をお願いしました。

○ 定例役員会

日時：3月9日（土） 13:30～14:50 役員会

場所：上記講演会と同一場所

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください。

○ 会員消息

おめでとうございます。

☆大西幸夫さん（S30理工）は1月31日古稀を迎えられました。おめでとうございます。ますますお元気で活躍下さい。

☆塩見之一さん（S25専工）は2月8日喜寿の誕生日を迎えられます。おめでとうございます。いつまでも青年の気概を保ち続けてください。

訃報

長島 文夫さん（S46教育）御尊父、長島 三千夫殿が1月17日逝去されました、心から哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

なお会則にもとづき、生花1基および弔電を供奉させて頂きました。

第19回 東村山雑学講座 報告

平成14年1月12日(土) 東村山市民センター第1会議室

「官僚の素顔とうらおもて」

講師 清水 道夫氏 (S28政経卒)

新聞記者から45歳の時外務省に入省したという特異な経歴をもつ清水氏は自己の経験に基づいたお話をジャーナリストの鋭い感性で述べられ、1時間の講演時間が短かく感じられた。講演後の質問にも丁寧に答えて頂いた。

官僚組織の問題点

- ① 国益優先、国民への奉仕精神の希薄さ
- ② 所属セクションの利益・安泰がすべてに優先し、このことが前例の墨守、上司に絶対服従、事なかれ主義、責任回避の諸悪の源泉となっている。
- ③ 旧軍隊そのままの階級制度、国家公務員1種試験合格者(いわゆるキャリア)とそれ以外の入省者との極端な差別。

年功序列が厳然と生きており、卒業年度と成績が一生ついてまわる。

ここまでのお話を聞いて私は以前読んだ堺屋太一氏の「組織の盛衰」という書物を思い出した。それはこんな内容でした。

組織には、共同体(ゲマインシャフト)と機能体(ゲゼルトシャフト)がある。本来この二つは構造も機能も目的も違う。したがって組織の管理運営に当たってこの区別を明確に意識している必要がある。良い共同体とは、構成員ひとり一人の満足を実現する結束の固い状況である。(稲門会などがこれに当たる)これに対して機能体組織は、外的な目的を達成することを目的とした組織である。ここでは、組織内部の構成員の満足や親交は手段であり、本来の目的は利潤の追求や戦争での勝利、一つのプロジェクトの完成など組織外の目的を完成することである。機能組織の共同体化をまねく根本的な原因は、組織倫理の頹廃であり、利潤採算という形で結果の出難い官公庁ではこの傾向が強い。日本の官公庁は、本来日本の国民全体の幸せのために機能すべきものだが、今やほとんどは自省の目的追求だけを正義と考えるようになっている。

さらに清水講師は予算の単年度主義の弊害について述べられ、官僚は予算(税金)は稼ぎ出すものではなく使い切るもので、予算増額、増員獲得が「有能」と認定される役所の掟がある。そしてこのような官僚組織をのさばらせてきたのは、日本人の「お上に逆らえない」という歴史、社会、文化の土壌と東大での秀才には勝てないという敗北思想があるのではないかと話された。また一般サラリーマンの納税意識を希薄にする「源泉徴収制度」を廃止し個人が確定申告する制度の改めるべきでありオンブズマン運動を推進して税金の使い道をきちんと監視することが大切であると述べられた。清水氏は、最近では早稲田の卒業生も官僚になる人が増えてきたが、東大法学部を中心とする組織の壁はなかなか崩せないと述べられたが、私はこういう時代こそ早稲田の卒業生がもっともっと官僚や政治の道に進み、西原元総長が言われたように地位が高くなればなるほど「庶民の心を心として」日本の國のために尽くす人材が出て欲しいと思います。このことは決して早稲田の「在野精神」とは矛盾しないと考えます。そして奥島総長が、これからの早稲田はタフで行動力があり、心やさしく他人の痛みがわかり、世のため人のために尽くす事が出来る人材を作りたいと言われているがこういう人材を早稲田から輩出して、21世紀の日本をリードして貫きたいと年の初めに日本の将来に夢を馳せました。(小亀輝雄)

注) オンブズマン ombudsman

行政監視官 議会もしくは市民の代理人の意、行政に対する市民の苦情を調査し、改善勧告をして、行政運営の適正化を促す。

事務局便り

○東村山稲門会会報（年報第6号）が出来上がりました
 総会直後から山下邦康編集人（S36教育）を中心に進めてきた、第6号会報（年次）が完成しました。ニュース59号、会員名簿とともにお届けしますので、ご覧下さい。

原稿依頼に快く応じていただきました皆さんに厚く御礼申し上げます。

なお、会報は会員以外の市内在住校友約750名にも送付致しますので、会員の皆さんからもお知り合いの校友に東村山稲門会への入会をお勧め下さい。

残数が有りますので、ご希望の方はお申し出下さい。

○平成13年度会費未納の方へ

平成13年度（本年度）会費未納入の方には、振り込み用紙を同封させていただきました。郵便局から下記の口座まで大至急振り込みをお願いいたします。

口座番号 00160-0-112250

口座名義 東村山稲門会

○俳句同好会（仮称）発足の動き

稲門会ニュースに俳壇が登場して1年が経ちますが、投句者の方々を中心にした集まりが下記の日程で企画されました。これからやってみようかという方の参加も大歓迎とのことです。どうぞお出かけ下さい。

会合日時 2月9日（土） 17:30～

場 所 丸 藤 久米川駅南口（栄町2-10-8）

TEL（395）5646

問い合わせ先 高 杉 修 さん

TEL（391）8447

○1月度例会後懇親会盛り上がる

奇数月例会後の懇親会（偶数月後もあります）が今や当稲門会の活力源となっていますが、1月の懇親会は新入会員の方のうち3名も加わり総勢23名が集い、文字通りの新年宴会となり大いに盛り上がりました。来年からは、公式行事にしましょうか。



同好会だより

ゴルフ同好会

世話人 井 垣 和 太 TEL396-3100

初打ちの先ずはめでたし池越しし 高 雀

この時期はゴルフはオフシーズンですが、我々にはオフもオンありません。寒さを覚悟して予約したプレー当日がセーターを脱ぐほどの暖かさだったりして、早咲きの梅を眺めながら、何か人生の得を拾ったような気分の日を過ごすのも今頃の季節です。

来月には、春の会長杯コンペの日程が発表になります。幹事役は堀田秀夫さん（S38文）と津野慶浩さん（S37商）のお二人です。

みなさんそろそろクラブを磨き始めて下さい。

ウォーキングの会

世話人 町田 和夫 394-2438



ウォーキングを通して市内・近郊のナイススポットを探
索し、街を再発見していきながら、会員相互の親睦を図
ることがこの会の目的です。

寒い2月ではありますが、日頃の運動不足の解消もか
ねて、実際に気楽な気分で歩いてみたいと思います

今回は、「下記のコース」(空堀川・柳瀬川のウォーキン
グ)を設定致しました。

清瀬せせらぎ公園も見学したいと思います。まだ面識の
ない会員の方々にも、是非ご参加頂き、ウォーキングを
通して会員相互の交流、健康の維持に繋がれば幸いです。
参加ご希望の方は、当日、下記場所へ集合願います

※1日時 2月17日(日) 10時～15時

※2集合場所 久米川駅南口広場 10時

※3持ち物 お弁当、水筒、敷物

※4当日、小雨の場合は中止致します

[コース] 久米川駅南口 10時→空堀川→3km 所沢街道→4.5km 志木街道→5km

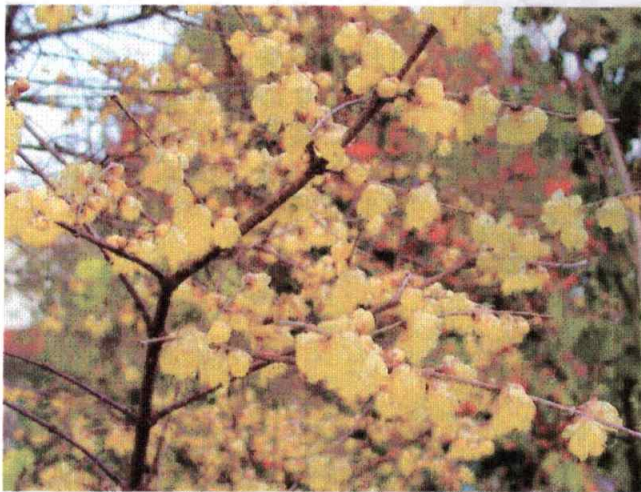
西武池袋線→6km 柳瀬川合流点[明治薬科大学・清瀬せせらぎ公園(お弁当・
見学12時～13時)]→柳瀬川→8km 金山緑地(清瀬市中里)

→10km 東所沢駅 15時 解散

山とハイキングの会

世話人 久保栄二 TEL 396-4577

長瀬の宝登山とろうばい見物ハイキング開催



早春に咲く薫り高い花「ろうばい」に会い
に秩父、長瀬の宝登山(497m)、
ロウバイ園へハイキングします。

是非ご参加下さい。尚、足に自信のない方は
ロープウェイもご利用できます。集合日、時、
場所等は下記の通りです。

1. 開催日時：2月11日(月・祝) 8時過
ぎ～16時過ぎ。小雨決行

2. 集合場所：西武池袋線「所沢駅」下り
線ホーム中央付近

午前8時20分(8時23分発の長瀬行

き快速急行に乗車)

3. 持ち物：お弁当、水、敷物、折りたたみかさ、他

4. コース：秩父鉄道「長瀬駅」 10:09 時着～宝登山神社～ロープウェイ下
～ロウバイ園～宝登山山頂(昼食)～復路～長瀬駅

(歩程約3時間半。ロープウェイ利用時は短縮)

5. 解散：「所沢駅」16時半頃の予定

テニス同好会

世話人 当 間 昭 治 TEL 391-6023



新年打ち始めの例会は1月19日(土)運動公園コートで実施。
午前中は風があったものの午後からは止み、気温9度ながら
身体を動かすには心地よいコンディションとなりました。
出席率100%の江藤さん以下8名、それぞれが持ち味を出し
つつ、午後の2時間を楽しみました。
2月は同じコートで下記にて行いますご参加下さい。

記

日時 2月11日(祭) 午前11時～午後1時

場所 運動公園テニスコート E面

恩多町 1-51-1 TEL394-1955

園芸の会

世話人 三 宅 良 太 TEL 394-5298



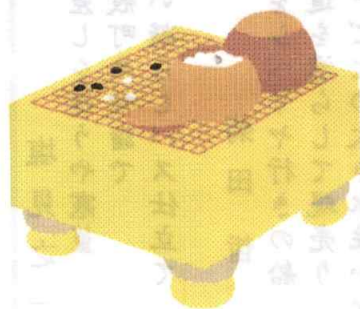
平成14年第1回の園芸の会を催します。

日時：平成14年2月17日(日)14時～16時

場所：東村山スポーツセンター2階会議室

今回は例年にならい、藤澤博恭氏(昭29政経)にご指導頂
き、サギ草の植え付け、さくら草の芽わけの実習を行い、種
々懇談する予定です。種や芽をお持ちの方はご持参下さい。
多数ご参加下さい

囲碁同好会

世話人 野村保夫 TEL 394-0417
井上 徹 394-8884

第4回 囲碁大会のご案内

前号に引き続き、第4回大会のご案内です。

日時：2月23日(土)13時～17時

会場：市民センター第4会議室

過去3回を数える囲碁大会の優勝者は、野村三段と福田五段のお二人だけ。
今回、三人目の優勝者が出るか？それとも再び・・・さあ、皆さまの出
番です！
多くのご参加をお待ちしております。

麻雀同好会

世話人 小野 智
田口 政澄

TEL 391-9523
395-4077

麻雀同好会のご案内



本年第一回麻雀大会を下記にご案内いたします。表彰式後は懇親会でまた一杯やりながら楽しいひとときを過ごしましょう。

今回も是非最低四卓で賑やかにおこないたいと思います。会員各位の積極的な参加をお願いいたします。出欠を下記締切りまでに必ずご連絡願います。

また初参加の方お待ちしております、大歓迎です。

記

日時：3月17日（日）12時30分

申込締切：3月8日（金）

場所： マージャン M

本町 4-12 アメニティパレス B1

TEL: 397-5228

会費：6千円（競技代、賞品代懇親会費用すべて含）

俳 壇

庭隅の日差しを追うや寒萱
初産は蛸殻町の初詣で
初詣で装い凝らしバス仕立て

菊田 哲

冬霞む沖をシベリヤ行きの船
寒ざむと道を濡らして蜆売り
この町の戸ごとの太き氷柱かな

柴田 元

友よりの便りうれしき冬夕焼
早大入学春風得意たる日の遠く
ゆったりと師走の雲の移りけり

高杉 修

丹前を弥蔵^{やぞう}に外湯めぐりかな
すぐ曇る車窓拭へり寒の月
枯芦の枝川に着く渡舟かな

井垣 和太

元朝の雨戸岩戸の如く開き
静けさの目覚めに聞こゆ初太鼓
日溜まりに達磨もどきの寒雀

八木 勝利

父惜しむ形見の本や年の暮
積もる雪発つ日を延ばす訳となる
吐く息の白さは同じ初詣

*弥蔵＝懷手をして拳を突き上げた格好

思ひ出の地(13)

塩見 之一

十三(続) 建軍基地・青春の苦しみ

八月六日、「広島が、敵の単機攻撃により甚大な被害を蒙った。」との、暗号処理をしない生電文が飛び交い受信者に事の重大さを感じさせた。続いて暗号化した情報が集まりその要約は、「落下傘のついた爆弾が空中で爆発。」「太陽がふたつになったような閃光持続。」など投下爆弾が当時の軍の理解を越えた新型であることが示されていた。

私が徴兵される以前から将来の熱原として核反応が着目され、関連の翻訳書が多数発行されていた。その内容は難解で理解しにくいものであったが、当時の理学・工学系の学生・生徒は競って入手し仲間内で読み合わせをしていた。国内での核研究の本拠が当時の理科学研究所であることは広く知られていた。

右記の「太陽がふたつ。」と言う点が原子核を武器として利用したものなのか、この兵器の運搬手段として浜名湖上空で目視した一梯団数十機のB29の大編隊と一日当り数梯団の来襲を考え合わせれば、この戦争の結末を予想するのは難事ではなかった。中一日をおいて長崎に同爆弾の投下があり軍部の動揺が一層広まった。

ひとつの地方都市がただ一発の爆弾で壊滅し

たとの情報から、当時の自国戦力をもとにした戦略・戦術の無力さを感じさせられたのが実情であった。(戦後、当時の核爆弾の数は三発で内一発の搭載艦が潜水艦攻撃で沈められていたとの新聞報道があった。しかしこの報道は、浜名湖上空に終日幅広い飛行機雲を作り南方洋上の基地から多数の大型爆撃機を関東・関西・中京の主要都市に送り込んでいる敵の軍需生産力が今後核爆弾に集中されることが容易に想像された。)

長崎攻撃の翌日中隊長が全員を集め状況を説明した。「新型爆弾が投下されたこと、中隊全員を収容する防空壕を早急に掘ること、熱を避けるため白い敷布を身に纏え。」が、その要旨であった。火山灰地に横穴を掘ることとは落石による危険が多く、付近の立ち木を大量に切り払って壕の補強に使い各分隊毎の壕が二日後に完成した。白いシーツの件は誰も信じなかったが中隊長の好意は好意として受け止められた。

若い飛行士の独断による自殺を思わせる単独特攻が散発的に行われ、発進後まもなくト(突撃)の長音発信が送られてきて九州近海にて敵艦艇が存在することが知らされた。

当時は本土決戦があるものと信じさせられていたから、単独攻撃の是非について意見が交わされたが軍の規律が目に見えて乱れ始め戦

争という極限状態が一つの終局を迎えた。

八月十五日の昼、玉音放送があった。

その内容が不明瞭な部分について隊長の補足があり、その時点で軍隊としての機能は解除された。武装解除後、直ちに復員を希望する者と残務処理に協力する者とが各自の申告によつて分けられた。

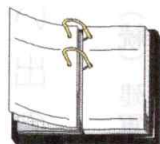
隊には少数ではあったが武器・武具があり、私は復員命令までその処理を任された。

通信隊にとつては送・受信機も武器扱いとなり真空管などを破棄すれば住むことであったが少数の小銃・短銃の類いは分解して使用不能とし熊本の本隊に返却された。

その作業の最中に、本隊に復帰した元見習士官を除く元上官に元兵士から夜間、呼出しが掛かるとの噂が流れた。私は六人の初年兵を預かっていたので彼等に聞いたところ、「それは(謝恩会)のことでしょう。」との返事があった。特に理由もなく部下を殴った者、捕らえられた逃亡兵を殴り続けた者、熊本空襲で家を失った避難者を「土民。」と言った者などなど旧軍の階級を悪用した者に限り呼出してゐるとのことであった。私は部下の二等兵達に、「復員命令が出るまでは手荒なことをするな。」と諫めたが、この件は後に意外な展開を見せることになる。

(この項終わる。)

今月の予定



- 11日（祝）山とハイキングの会
テニス同好会
17日（日）ウォーキングの会
園芸の会
23日（土）囲碁同好会

編集局だより

編集局：井垣、伊藤、塩見、田口

東村山稲門会：<http://www.din.or.jp/~tigers/>

東村山稲門会ニュース：<http://members.jcom.home.ne.jp/toumonkai>



○ニュースが締め切りを迎える最中、大変な事件が起こってしまいました。東村山の中学生がホームレスを殺害した事件です。私の住む親しい風景の中で事件は起きました。私の娘の通う中学の、しかも同じ学年の生徒達の起こした事件でした。昨日、私も中学で開かれた説明会に出席してきました。多くの父兄が詰めかけ、父親達の発言が際立ちました。事件に関してはまだまだ多くを言うべき時では有りません。今、緊急にお願いしたいのは、つまりこの稲門会にも大勢いらっしゃる卒業生。この伝統有る中学の先輩方、そしてとりわけ様々な形で地域の社会と関わりを持ち続けたいと願っている

稲門会の会員の皆様をお願いしたいのは、この中学の子供達が今、謂われのない攻撃に晒されているということです。心ない大人達が、この子供達に向かって「殺人者の中学」と呼び、追い掛けているということです。昨日、説明会から帰って私は只、子供に「頑張れ」とだけ言いました。頑張れの一言をどうか子供達に掛けてあげてください。

○次号の原稿の締切は2月22日（金）とさせていただきます。（伊藤）

○俳句の会の呼びかけは、実は5年前の「会報第1号」の紙面にも見られます。5年目にしていよいよ実現の運びとなりました。大勢の参加が期待されます。提案者の高杉修さん（S32教育）宜しくお願いします。

（井垣）

会員情報をお寄せ下さい

皆様の身近な情報をお寄せ下さい。還暦・喜寿・傘寿・米寿・白寿・受験合格から神頼みの一言まで（そう言えば神主さんも居ます）写真もOK。

E-mail：toumonkai@jcom.home.ne.jp まで添付ファイルはMS-WORD、一太郎のみ。

勿論テキストファイルはすべてOKです。

FAX：042-398-1352

郵送：東村山市富士見町1-12-2 ヴィラージュ・ヴェール1-209 伊藤宛